

■コメント

1. 梅毒

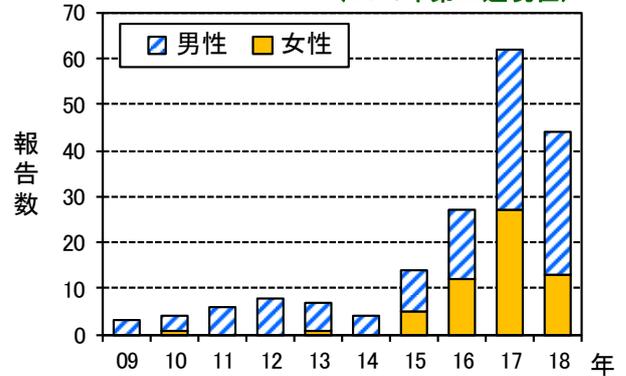
5件の報告があり、今年の累計は44件(昨年同時期の約2.1倍)となりました。過去最多となった昨年(62件)を上回るペースで増加しています。

梅毒は、性的な接触(感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触)などにより感染します。感染部位にしこりができたり、リンパ節の腫れ、全身に「バラ疹」と呼ばれる赤い発疹が出るなど、様々な症状が現れます。痛みがないことも多く、発疹は治療をしなくても消える場合や再発を繰り返すこともあります。

感染の疑われる症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

梅毒の年間報告数の推移

(2018年第22週現在)



【参考】梅毒に関するQ&A(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	7	0.19	0.18		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.67	
小児科	咽頭結膜熱	23	0.96	0.78	⇒	眼科	RSウイルス感染症	6	0.25	0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	3.00	3.35	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	159	6.63	7.79	⇒		流行性角結膜炎	5	0.63	1.09	
	水痘	5	0.21	0.83		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	52	2.17	1.76	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	0.08	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.23			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.11	
	突発性発しん	11	0.46	0.53			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	28	1.17	0.58	⇒		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	61	女性(80歳代)
4	レジオネラ症	4	9	男性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・市外・1人、男性(80歳代)・1人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	男性(80歳代)
5	梅毒	5	44	男性(20歳代)・1人、女性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・2人、男性(50歳代)・1人
5	百日咳	2	14	女性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	定点把握感染症																		
		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	
第18週	7	7	32	140	1	9	1	2	7	8	12	-	9	-	-	-	-	-	23	
第19週	12	22	58	208	4	11	-	16	8	4	4	2	6	-	-	-	-	6		
第20週	3	21	66	198	2	31	-	9	15	9	6	-	12	-	-	-	1	4		
第21週	6	22	84	155	7	42	-	8	25	6	6	-	12	-	-	1	-	1		
第22週	7	23	72	159	5	52	2	11	28	3	6	-	5	-	-	1	-	1		
定点当たり	広島市	第18週	0.19	0.29	1.33	5.83	0.04	0.38	0.04	0.08	0.29	0.33	0.50	-	1.13	-	-	-	-	3.29
		第19週	0.32	0.92	2.42	8.67	0.17	0.46	-	0.67	0.33	0.17	0.17	0.25	0.75	-	-	-	-	0.86
		第20週	0.08	0.88	2.75	8.25	0.08	1.29	-	0.38	0.63	0.38	0.25	-	1.50	-	-	-	0.14	0.57
		第21週	0.16	0.92	3.50	6.46	0.29	1.75	-	0.33	1.04	0.25	0.25	-	1.50	-	-	0.14	-	0.14
		第22週	0.19	0.96	3.00	6.63	0.21	2.17	0.08	0.46	1.17	0.13	0.25	-	0.63	-	-	0.14	-	0.14
全国	第20週	0.40	0.64	3.13	7.38	0.35	0.76	0.26	0.58	0.08	0.18	0.30	0.03	1.10	0.01	0.03	0.18	-	0.28	
	第21週	0.27	0.85	3.02	7.23	0.59	0.79	0.20	0.61	0.14	0.15	0.30	0.03	0.94	0.02	0.03	0.14	-	0.21	

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

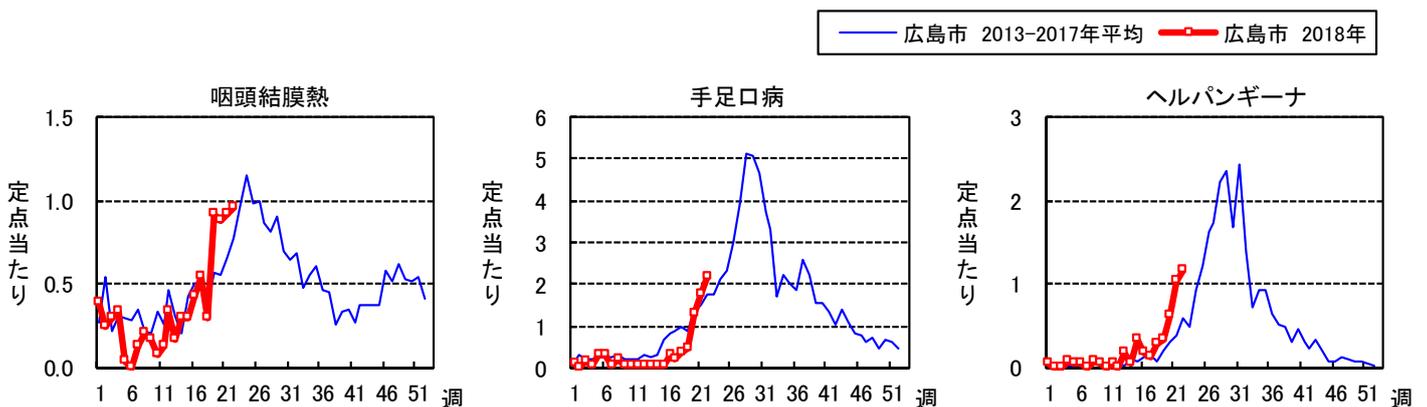
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	水疱	2	女	2018/04/13	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
その他の神経系疾患	左顔面神経麻痺 鼻炎	1	女	2018/04/22	鼻汁	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】夏季に流行する感染症の発生動向(2018年第22週現在)



咽頭結膜熱・手足口病・ヘルパンギーナは、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。広島市では、5月頃から報告数が増加しており、今後の動向に注意が必要です。
手洗いの励行、排泄物の適切な処理、タオルの共用は避けるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第22週(5月28日~6月3日)